

地方版 2026/06/16(火)

# 無農薬「パックご飯」贈る

## 日商テクノ 郡山市のこども食堂に780個

### 60周年の「恩返し」

### 休耕田10畧借り、社員が栽培

郡山市富田町の建設業・水道資材卸販売・鋼管加工機メーカー「日商テクノ」は、市こども食堂ネットワークにパックご飯780個を寄付した。パックご飯には、同社が昨年から育ててきた無農薬米を使用。小川典子社長(60)と小川憲一郎常務(60)は「会社が今年で創業60周年を迎えるにあたり、地域に恩返しがあった」と語っている。

同社は以前から、創業60周年に向けて何か地域貢献ができないか

と思いを膨らませてきた。かねてから会津地方の無農薬農家を支援としてきたつながりもあり、「1度きりの挑戦」として米の無農薬栽培



「市の未来を担う子どもたちに食べてほしい」と、椎根市長に目録を手渡した小川典子社長(中央)と小川憲一郎常務(右)

に乗り出した。

福島、二本松、喜多方各市で使われていない田んぼ計10畧ほどを借り、社員が出向いて栽培した。厳しい自然環境を相手にする大変さを経験しながら、計13トの米を収穫した。

小川典子社長、小川憲一郎常務は12日、市役所を訪れ、「市の未来を担う子どもたちに食べてほしい」と椎根健雄市長に目録を手渡した。椎根市長は2人に感謝状を贈った。

パックご飯は、ネットワークに登録する市内の子ども食堂35団体で活用される。